

あい愛
ひろば

桐生市社協だより

Vol.55

2017.12. 1 発行

発行／社会福祉法人 桐生市社会福祉協議会
〒376-0006 桐生市新宿3-3-19
TEL.0277-46-4165 FAX.0277-46-4166
ホームページ <http://kiryu-csw.net>



たくさんの親子でにぎわう子育てサロン

主な内容

- 2 …… 社協会費
- 3 …… 民生委員制度創設 100 周年
- 4 …… 社会福祉協力校
- 5 …… サロン紹介
- 6 …… グループホーム
- 7 …… 結婚相談
- 8 …… 職員採用試験案内

親子がリラックスできるような居場所づくりを目的として、開催しています。お気軽にお越しください。

詳しくは 8 ページをご覧ください。

社 協 会 費

総務課

社協では、地域福祉活動を推進するため、一般会費と特別会費を有効に活用し、さまざまな地域福祉事業を展開しています。今後とも社協会費へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



サロン活動など

地域で実施されるサロン活動、自主防災活動、世代間交流活動に助成金を交付するとともに、運営を支援しています。

- サロン活動……地域住民が交流を図ることを目的とし、特に高齢者サロンは、介護予防や健康の維持向上、引きこもり等の予防を目指す活動です。
- 自主防災活動……防災に関する知識の普及や訓練等を通じて、住民が互いに協力し合える地域づくりを目指す活動です。
- 世代間交流活動……世代を超えた交流を図ることで、地域住民のつながりを深めることを目指す活動です。

平成28年度決算額／2,062,708円

見守り活動

一人暮らし高齢者等の孤独感を解消し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民が定期的に自宅を訪問する見守り活動に対して助成をしています。

平成28年度決算額／436,952円

ふれあい子育てサロン

未就園児とその保護者に対し、気軽に立ち寄れる場所を提供し、遊びや情報交換、仲間づくりを目的に開催しています。

平成28年度決算額／93,342円

福祉のまちづくりセミナー

住民主体の地域福祉活動の支援や関係機関とのネットワークづくりのための講座を開催しています。

平成28年度決算額／272,126円

地区別懇談会

地域住民や関係機関が集まり、福祉課題の把握・解決を目的に開催しています。

平成28年度決算額／74,805円

高校生ボランティアスクール

高校生がボランティア体験を通して、社会福祉の理解と関心を高めるために開催しています。

平成28年度決算額／206,052円

これらの事業の財源の一部として活用しています。



民生委員制度創設100周年

地域福祉課

民生委員制度は大正6年5月12日に岡山県で創設された「濟世顧問制度」がその源です。そこから数えて、本年100周年を迎えました。

◆ 民生委員とは

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員としてボランティアで活動しています。全国共通の制度として、民生委員の相談・支援を受けられるよう、どの地域でも活動し、全国で約23万人、桐生市では、285人が活動しています。民生委員には、民生委員法第15条に定められた守秘義務があり、相談内容や個人の秘密は守られます。安心してご相談ください。

◆ 記念事業を実施

桐生市民生委員児童委員協議会では、民生委員制度創設100周年にあたり、記念大会を開催したほか、記念誌の発刊、記念品の配

布、広報活動を実施しました。

● 「ジャンボパレード」に参加

8月6日(日)、第54回桐生八木節まつり「ジャンボパレード」に参加しました。民生委員が手作り



創設100周年を迎えた民生委員制度

の横断幕やのぼり旗等を掲げ、沿道に詰めかけた大勢の市民や観光客に活動をPRしました。

● 桐生市民生委員児童委員大会を開催

11月15日(水)、市、社協との共催により開催しました。民生委員等約350人が集うなか、大会宣言が発せられ、委員としての決意を新たにし、また現任委員と退任委員の交流を深めました。アトラクションでは、上州ろう太鼓「心響」の演奏が披露され、会場から大きな拍手が送られました。

思いやり駐車場利用証

地域福祉課

公共施設や商業施設などの車いす使用者用駐車場を利用する時に掲示する「思いやり駐車場利用証」を無料で交付しています。同様の制度を実施している全国36府県、1市で利用証の相互利用が可能です。

■ 対象者

- 身体障害者（視覚障害、肢体不自由障害区分において、一部非該当となる等級があります。）
- 知的障害者（療育手帳の障害の程度がAの方）



思いやり駐車場を利用する際に必要です

- 精神障害者（精神障害者保健福祉手帳の障害の等級が1級の方）
- 高齢者（要介護1以上の方）
- 難病患者（特定疾患医療受給者の方）

■ 申請方法

申請書を地域福祉課へ提出してください。その際以下の書類の提示をお願いします。代理人による申請も可能です。

- 身体障害者：身体障害者手帳
- 知的障害者：療育手帳
- 精神障害者：精神障害者保健福祉手帳
- 高齢者：……介護保険被保険者証
- 難病患者：……特定疾患医療受給者証
- 妊産婦：……母子手帳

桜木小学校を協力校に指定

地域福祉課

社会福祉協力校とは

本年度、群馬県社会福祉協議会から指定を受け、桐生市立桜木小学校が社会福祉協力校（以下、協力校）として活動しています。協力校事業は、県内の小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、福祉体験学習等の機会を通して、社会福祉への理解と関心を高めるとともに、普段の暮らしの中で子どもたちが自ら主体的に行動できるきっかけを作り、地域福祉の向上を図ることを目的に実施されています。桜木小学校では、福祉への関心を持ち理解を深めること、相手のことを思いやり親切に行動すること、正しいと思うことは進んで行うこと、この3つの活動目標を立てて福祉活動に取り組んでいます。

活動の様子

4年生は、総合的な学習の時間に福祉をテーマに学習をしています。



親子で参加するPTA クリーン活動

す。委員会では、JRC委員会、環境美化委員が中心に活動しています。全校では、PTA親子クリーン活動を全校児童を対象としてグラウンド周りの清掃などを行いました。年2回実施し、どちらか1回に参加してもらえよう、PTA役員により呼びかけやごみ袋の配布によって多くの児童が参加しました。

福祉体験学習の一環として行った



点字製作に真剣に取り組んでいます

た点字教室では、児童たちが点字器を使って書き点字を学びました。特に自分の名前を書く時には、とても興味を持って楽しそうに取り組んでいました。

ブラインドウォーク体験では、二人一組でアイマスクをして互いに補助し合いながら実施しました。本年度から開始した認知症セミナーでは、もの忘れの症状のイメージが強かった児童たちが講義やDVD鑑賞、体験を通してもの忘れだけでなく、他のさまざまな症状についても学ぶことができました。その他、高齢者学級との交流会、車イス体験、高齢者擬似体験、

手話体験学習、助産師による「いのちの授業」、花の栽培、あいさつ運動、たてわり清掃などを行っています。

★児童の声

「困っている人がいたら、助けになりたい。」「障害者の方の気持ちを少しでも理解できたので、そういった方を見かけた時には、積極的に協力したい。」などの声が上がっています。

★先生の声

4年生担任の先生は、「担任や学校先生が教えるのと児童に伝わりにくい内容でも、専門的な講師に教えていただけるととても興味を持って学んでくれるので、実施して良かった。今後もこういった取り組みは続けていきたい。」と語っています。

教頭先生は、「ブラインドウォーク体験では、視界がさえぎられることで、指示待ちになってしまった児童もいるので、自分がどういった情報が欲しいかを相手に伝えることも大切だ。PTA親子クリーン活動やあいさつ運動、高学年の児童がリーダーとなるたてわり清掃などは今後も継続的に実施していきたい。」と語っています。